

出逢い応援事業・成婚第1号



鳥羽シーサイドホテルで6月11日、市が主催する「出逢い応援事業」の参加者から成婚が決まった初めてのカップルの挙式が行われました。

「出逢い応援事業」について白木町在住の新郎・河村隆史さんは「最初不安もありましたが、家族の後押しもありこの事業に参加できました。末永く幸せな家庭を築いていきたい」、新婦で大阪市平野区出身の高井智代さんは「鳥羽は家族旅行で訪れたことがあり、食べ物がとても美味しいので大好きな場所でした。この事業に参加することができて良かったです」と幸せいっぱいの笑顔で語ってくれました。

新観光案内所がオープン



5月30日、鳥羽市観光案内所が近鉄鳥羽駅構内2階に移転しオープンしました。

これにより近鉄、JRなどの公共交通機関で鳥羽を訪れる観光客が、より利用しやすくなりました。

広さが従来の案内所の約1.5倍の床面積となり、観光情報PRコーナーを充実させ、今まで以上に観光地鳥羽の情報を発信できる拠点となりました。

まちの話題 1月号

みなとまち魅力調査団



市の若手職員で構成する「みなとまち魅力調査団」は6月11日～12日と18日～19日の4日間、マリンターミナル、鳥羽駅、鳥羽水族館で観光客を対象にアンケート調査を実施しました。

あらかじめ準備した地図や写真が入った手作りの設問パネルを見てもらいながら、「駅前にこんな施設があればいいのに…」 「少しづついろんな種類の海の幸が食べたい！」など、観光客のみなさんからいろいろな意見を収集しました。

調査団のメンバーは、いただいた貴重なご意見を持ち帰り、「みなとまち鳥羽」の魅力アップにつなげていきたいと語っていました。

遊具もうれしい！公園でペンキ塗り



市民の森公園で5月20日、ボランティアグループ・ピースマイルのメンバー5人が遊具などのペンキ塗りを行いました。

色がくすんだり剥げ落ちたりして、さみしげだったゾウやカバ、すべり台などの遊具やベンチが色鮮やかに塗り替えられ、命が吹き込まれたかのように、つやつやに生まれ変わりました。

参加したメンバーたちは「遊びにくる子どもたちやママたちが安心できるように、公園が明るい雰囲気になれば」と語ってくれました。